

色を題材とした小学生向け環境教育プログラムの考案

－日本の伝統色と季節感を土台として－

北川みね子

指導教員 市川智史

1. 研究目的

本研究では、日本の伝統色と季節感を土台に、日本人と自然との関わり方に関する理解を培う小学生高学年向けの環境教育プログラムを考案する。

2. 研究方法

- ①色を取り上げた環境教育の事例やアクティビティを調査、分析する。
- ②日本の伝統色を土台とした環境教育プログラムを考案する。
- ③模擬実践により実践的に評価・検討し、プログラムの改善案を考案する。

3. プログラムの考案

対象者：小学校高学年 40 人

ねらい：①色に対する感性を高める。

②身の回りの色や自然の多様性に気づく。

③伝統色を知ること、色名に込められた思いに気づき、人と自然の関わりを考える。

プログラム：「日本の伝統色と季節感」

時間	学習内容・意図	学習活動
35分	・自然の色の多さに気づき、伝統色について知る。	・活動1「色を集める」
5分	・伝統色の名前をつけるにいたった自然との関わりを読み取る。	・活動2「枕草子の鑑賞」
40分	・現在の自然や季節感を考える。	・活動3「色を作る」
10分		・まとめ

4. 模擬実践

作成したプログラム「日本の伝統色と季節感」を、大学生を対象にして模擬的な実践を行った。実践の日時等は次の通りである。

- ・実践日時：平成17年11月15日（火）10：30～12：00
- ・実践対象：滋賀大学教育学部生28人（男6人、女22人）
- ・実践場所：環境教育実験室

5. 改善試案

所要時間：180分

プログラム：「日本の伝統色と季節感」

時間	学習活動	学習内容・意図	備考
45分	・活動1 「色を集める」	・自然の色の多さに気づき、伝統色について知る。	伝統色プリント
15分	・活動2 「枕草子の鑑賞」	・伝統色の名前をつけるにいたった自然との関わりを読み取る。	「枕草子」 原文、現代語訳プリント
30分	・活動3 「色を探す」	・身近な自然を実感する。	
75分	・活動4 「色を作る」	・現在の自然や季節感を考える。	和紙
15分	・まとめ		